



naniwa-osaka studi

関西大学なにわ大阪研究センター特別研究「なにわ大阪『笑い』文化の再検討」班



日本独自の文芸である俳諧は「座」の文芸とも呼ばれます。非日常的な関係でつながり、生きる楽しみをいっしょにする「座」という場で俳諧が育まれました。上方の「笑い」もまた、落語でも狂言でも、現代に至って喜劇、漫才も、その場の人たちがその場の非日常的な関係でつながり、楽しむ、人間が連帯する気持ちを営みます。上方の芸能を「座」という概念を通して考えることで、上方の「笑い」の文化に新しい見方が生まれそうです。今回の研究会は大東文化大学東洋研究所の協力を得て、前半の研究報告では、上方の「笑い」と「座」の歴史的な展開をたどり、宝塚歌劇の作品が生みだされる現場を「座」と捉え直します。後半は、「座」の典型的な場である宝塚歌劇について、元宝塚歌劇団トップスター 榛名由梨さんからお話をうかがいます。

参加
無料
*要申込み

「座」の文芸

～宝塚歌劇と上方の「笑い」～

2018年 12月15日(土) 13:00~16:30

関西大学 千里山キャンパス なにわ大阪研究センター セミナー室

- 13:00 開会のあいさつ
浦 和男 (関西大学なにわ大阪研究センター)
- 13:05 研究報告1
「風狂と『笑い』—天和・貞享期の座の文芸—」
13:45 安保博史 (群馬県立女子大学文学部教授、大東文化大学東洋研究所兼任研究員)
- 13:55 研究報告2
「『笑い』と『座』の文芸—宝塚新芸座と新人会—」
14:35 蔵中しのぶ (大東文化大学外国語学部教授、同東洋文化研究所兼任研究員)
- 14:50 講演
「ベルサイユのばら、45年の軌跡」
16:20 榛名由梨 (元宝塚歌劇団トップスター)
- 16:25 閉会のあいさつ
浦 和男 (関西大学なにわ大阪研究センター)

講演

「ベルサイユのばら、45年の軌跡」

45年の軌跡



元宝塚歌劇団トップスター
榛名由梨

- 定員** 80名 (参加無料、先着申込み順)
- 共同開催** 関西大学なにわ大阪研究センター特別研究「なにわ大阪『笑い』文化の再検討」班
大東文化大学東洋研究所「茶の湯と座の文芸」研究班
- 協力** 関西大学人間健康学部 浦和男研究室
群馬県立女子大学文学部 安保博史研究室
大東文化大学外国語学部 蔵中しのぶ研究室

お問合せお申込み 関西大学なにわ大阪研究センター
naniwa-osaka@ml.kandai.jp

